



株式会社相馬光学と 創業者、二代目経営者の歩み

株式会社相馬光学

東京都西多摩郡日の出町平井23-6



光分析、分光技術など、
光を利用した分析・測
定・計測機器メーカー

企業概要

設立 昭和51年(1976年)8月
資本金 1000万円
代表 浦 明子
業種 光学機器製造
社員 19名

※主な製品

- ・HPLC(高速液体クロマトグラフ)用検出器・関連装置
- ・牛肉/豚肉/まぐろ脂肪測定装置など食品関連機器
- ・太陽電池分光感度測定装置、ソーラシミュレータ測定用分光放射計など分光計測機器
- ・分光感度測定装置
- ・大手企業OEM製品

ユニークなオリジナル開発製品

食肉脂質測定装置



**5年に1度行われる
和牛のオリンピック
「全国和牛能力共進
会」で公式測定ツール
として採用**

まぐろ脂肪含量測定装置「PiPiTORO」



まぐろの脂肪含量をピピッと測定でき、
親しみやすいネーミングが評価



保有技術と製品開発による受賞

- ・2009年 東京商工会議所「勇気ある経営大賞」優秀賞
- ・2010年 「東京都ベンチャー技術大賞」優秀賞



優秀賞
株式会社 相馬光学
太陽分光放射計
「ひだまりmini」



浦 信夫



30歳で日本電子を退社して、2年後に
会社を設立した当時の浦会長夫妻

- 1944年 福島県南相馬市生
- 1964年 日本電子株式会社入社
分光関連機器の製造、開
発を担当
- 1976年 相馬光学を設立
- 1982年 株式会社相馬光学代表
取締役就任
- 2013年 代表取締役会長に就任
- 2022年 会長に就任



浦 明子



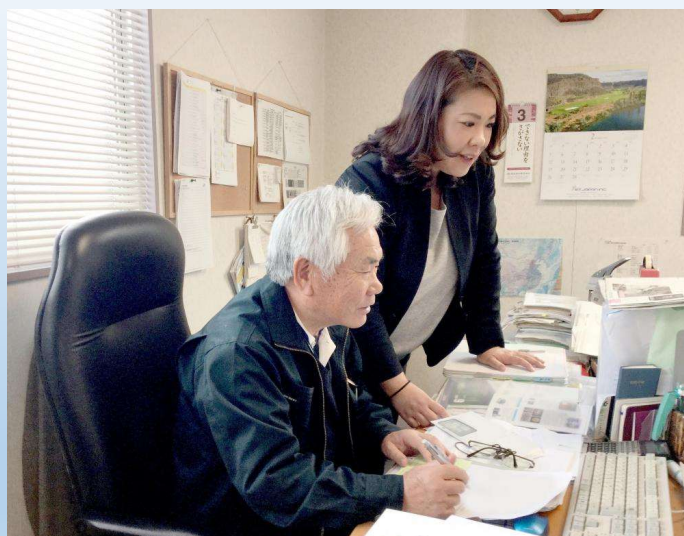
高校・短大とバレーボールの特待生で、
卒業後入社が決まっていた実業団のバレー
ボール部をケガのため辞退

- 1974年 東京都生
- 1995年 相馬光学に入社
- 1995年～薬科大学研究室に
3年間派遣、終了後は
大学職員として3年間
- 2001年 本社営業部に復帰
- 2006年 営業部長
- 2011年 常務取締役に就任
- 2013年 代表取締役社長就任



事業承継の 3つのカタチ

- 父から子へ
- 創業者から
二代目へ
- 技術者から
営業マンへ



承継後も同じ部屋で今後の経営を話し合う

「小さな情報もポケットに溜めておく」 ことが大切



真剣に仕事に取り組む社員は会社の誇り



3人の娘と孫に囲まれて金婚式を祝う

【テーマ】

創業者、二代目経営者が本音で語る 事業承継と今後の展望について

- 1 株式会社相馬光学と創業者、二代目経営者の歩み
 - 2 事業を承継するまで
 - 3 事業を承継してから
 - 4 事業を承継するために必要なこと
 - 5 今後の展望
- ◎ 参加者からの質問に回答